

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

W 1152

(11)Publication number : 2002-269427

(43)Date of publication of application : 20.09.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60
 G06K 17/00
 G07G 1/12
 G07G 1/14

(21)Application number : 2001-070062 (71)Applicant : SHARP CORP

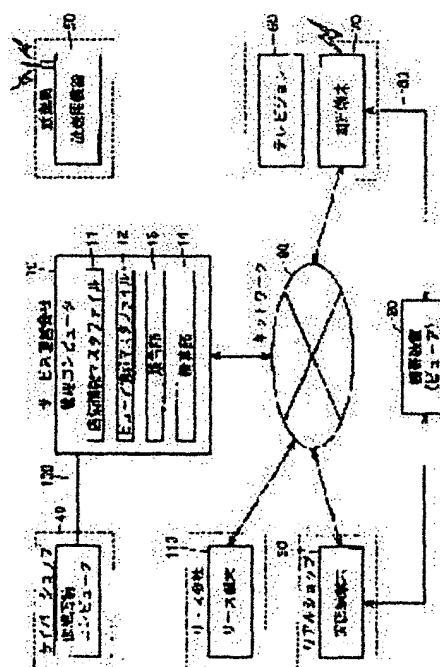
(22)Date of filing : 13.03.2001 (72)Inventor : NAGAFUKU
 NOBUYUKI
 SATO KOJI
 KAWAGUCHI
 YASUKO
 SAKAMOTO JITSUO

(54) POINT SERVICE METHOD, PORTABLE DEVICE, AND MANAGEMENT COMPUTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a point service system for collecting a lease fee for a portable device managing points usable mutually in a real shop and cyber shop without giving a feel of burden to a user.

SOLUTION: Issued points are calculated in the portable device (a viewer) 20 by accumulating a payment amount that the user has paid for commodities purchased in or services given by a real shop. The payment amount and the number of issued points are transmitted as point information from the viewer 20 via a real store terminal 30 to a management computer 10. The management computer 10 has a settlement part 14 for calculating a special contract fee to be collected from stores, a lease imposed fee to be paid back to a lease company for leasing the viewer 20 and a point pay-back amount to be paid back to the stores from the received point information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 24.01.2003

[Date of sending the examiner's
decision of rejection]

[Kind of final disposal of application
other than the examiner's decision
of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for
application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

【特許請求の範囲】

【請求項1】 実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮想店舗コンピュータと、前記仮想店舗コンピュータに通信回線を介して接続される固定端末と、前記実店舗端末および前記固定端末に接続される携帯装置とを備えたポイントサービスシステムにおけるポイントサービス方法であって、
前記実店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額を前記実店舗端末に入力するステップと、
前記入力された支払金額をポイント関連情報として前記実店舗端末から前記携帯装置に送信するステップと、
前記仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額を前記仮想店舗コンピュータから前記固定端末に送信するステップと、
前記仮想店舗コンピュータから送信される支払金額を前記固定端末で受信するステップと、
前記受信された支払金額をポイント関連情報として前記固定端末から前記携帯装置に送信するステップと、
前記受信したポイント関連情報と前記ポイント関連情報を受信した日時とに基づいて前記携帯装置で前記享受者が取得するポイント数を発行ポイント数として算出するステップと、
前記算出された発行ポイント数を前記携帯装置で記憶するステップとを含む、ポイントサービス方法。

【請求項2】 前記発行ポイント数を算出するステップでは、
一定期間内に受信した前記ポイント関連情報内の前記支払金額の累計を計算するステップと、
前記計算された支払金額の累計に応じてユーザ還元率を決定するステップと、
前記ポイント関連情報である支払金額と前記決定されたユーザ還元率との積で発行ポイント数を算出するステップとを含む、請求項1に記載のポイントサービス方法。

【請求項3】 前記ポイントサービスシステムはさらに、前記実店舗端末および前記固定端末に通信回線を介して接続可能な管理コンピュータを備え、
前記ポイント関連情報と前記享受者に付与されたユーザ識別子と前記発行ポイント数とを前記携帯装置から前記実店舗端末および前記固定端末に送信するステップと、
前記携帯装置から送信されるポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを前記実店舗端末で受信するステップと、
前記受信されたポイント関連情報と、ユーザ識別子と、発行ポイント数と、前記ポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを受信した日時とを前記実店舗端末で記憶するステップと、
前記記憶されたポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数と日時とを実店舗情報として前記実店舗端末から前記管理コンピュータに送信するステップと、

前記携帯装置から送信されるポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを前記固定端末で受信するステップと、

前記受信されたポイント関連情報と、ユーザ識別子と、発行ポイント数と、前記ポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを受信した日時とを前記固定端末で記憶するステップと、

前記記憶されたポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数と日時とを仮想店舗情報として前記固定端末から前記管理コンピュータに送信するステップと、
前記実店舗端末および前記固定端末から前記実店舗情報と前記仮想店舗情報とを前記管理コンピュータで受信するステップと、

前記実店舗情報および前記仮想店舗情報に基づいて前記ユーザ識別子ごとの支払金額および発行ポイント数の履歴をユーザ履歴情報として前記管理コンピュータで作成するステップと、

前記ユーザ履歴情報に基づいて、各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを前記管理コンピュータで計算するステップとをさらに含む、請求項1に記載のポイントサービス方法。

【請求項4】 前記ポイントサービスシステムはさらに、前記管理コンピュータに通信回線を介して接続可能であり、前記リース会社内に置かれたリース端末を備え、
前記管理コンピュータで計算するステップでは、
前記計算されたリース負担料を前記実店舗端末情報および仮想店舗端末情報内の日時に基づいて累計するステップと、
前記累計されたリース負担料が規定の値に達したときに、前記管理コンピュータから前記リース端末へ、前記携帯装置の更新指令と、前記累計されたリース負担料が規定の値に達した前記享受者のユーザ識別子とを送信するステップとを含む、請求項3に記載のポイントサービス方法。

【請求項5】 実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮想店舗コンピュータに接続可能な固定端末とに接続可能な携帯装置であって、
前記実店舗または仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額をポイント関連情報として前記実店舗端末または前記固定端末から受信する手段と、
前記受信したポイント関連情報と前記ポイント関連情報を受信した日時とに基づいて前記携帯装置で前記享受者が取得するポイント数を発行ポイント数として算出する手段と、
前記計算された発行ポイント数を記憶する手段とを含む、携帯装置。

【請求項6】 前記発行ポイント数を算出する手段は、

一定期間内に受信した前記ポイント関連情報内の前記支払金額の累計を計算する手段と、

前記計算された支払金額の累計に応じてユーザ還元率を決定する手段と、

前記ポイント関連情報である支払金額と前記決定されたユーザ還元率との積で発行ポイント数を算出する手段とを含む、請求項５に記載の携帯装置。

【請求項７】 実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮想店舗コンピュータに接続可能な固定端末とに通信回線を介して接続可能であり、前記固定端末を介して携帯装置と接続可能な管理コンピュータであって、

前記実店舗で取得または利用されるポイントに関連する情報であって、前記実店舗端末から送信される実店舗情報と、前記仮想店舗で取得または利用されるポイントに関連する情報であって、前記固定端末から送信される仮想店舗情報とを受信する手段と、

前記実店舗情報および前記仮想店舗情報を保存する手段と、

前記実店舗情報および前記仮想店舗情報に応じて、各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを計算する手段とを含む、管理コンピュータ。

【請求項８】 前記実店舗情報は、前記実店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額と、ユーザ識別子と、前記支払金額の累計に応じて前記携帯装置で算出され、前記支払金額に応じて前記享受者が取得する発行ポイント数と、前記携帯装置が前記支払金額を前記実店舗端末から受信した日時であり、前記仮想店舗精算情報は、前記仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額と、ユーザ識別子と、前記支払金額の累計に応じて前記携帯装置で算出され、前記支払金額に応じて前記享受者が取得する発行ポイント数と、前記携帯装置が前記支払金額を前記仮想店舗端末から受信した日時であり、前記計算する手段は、前記実店舗情報と前記仮想店舗情報とから前記ユーザ識別子ごとの支払金額および発行ポイント数の履歴をユーザ履歴情報として作成し、前記ユーザ履歴情報に従って各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを計算する、請求項７に記載の管理コンピュータ。

【請求項９】 前記管理コンピュータはさらに、前記携帯装置をリースするリース会社内に置かれたリース端末に通信回線を通じて接続可能であり、前記計算する手段は、前記算出されたリース負担料を前記実店舗情報および仮想店舗情報内の日時に基づいて累計する手段とを含み、前記累計されたリース負担料が所定の値に達したとき

に、前記管理コンピュータから前記リース端末へ、前記携帯装置の更新指令と、前記累計されたリース負担料が規定の値に達した前記享受者のユーザ識別子とを送信する手段をさらに含む、請求項８に記載の管理コンピュータ。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】この発明は、ポイントサービス方法、携帯装置、および管理コンピュータに関し、さらに詳しくは、実店舗（以下リアルショップと称する）とネットワーク上の仮想店舗（以下サイバーストップと称する）の双方で使用可能なポイントサービス方法、携帯装置、および管理コンピュータに関する。

【０００２】

【従来の技術】小売店などの顧客吸引力の向上と、商品およびサービスの売上促進を目的として、ポイントサービスシステムがリアルショップで導入されている。商品購入者またはサービス享受者は自分が購入した商品または利用したサービスに対して支払う支払金額に応じたポイントを取得し、ポイントが一定量貯まった場合に貯まったポイント量に対応した商品券などを得ることができ、次回の商品購入時またはサービス享受時に利用することができる。

【０００３】またサイバーストップにおいても、リアルショップと同じようにポイントサービスシステムが導入されている。

【０００４】しかしながら、リアルショップとサイバーストップでいずれにも使用可能なポイントサービスシステムは従来では存在していなかった。

【０００５】そこで本出願人は特願２０００－３６２１６４号にて、リアルショップとサイバーストップのいずれにも使用可能なポイントサービスシステムを提案した。

【０００６】特願２０００－３６２１６４号では、リアルショップとサイバーストップのいずれにも使用可能なポイントを管理する携帯装置が商品購入者等に提供され、商品提供者等が携帯装置を所持することにより、リアルショップとサイバーストップのいずれにも使用可能なポイントサービスシステムを確立している。

【０００７】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、商品購入者等に提供される携帯装置が無償で提供されれば、携帯装置を提供するメーカーが利益を上げることが出来ず、その結果、新たなサービスに対応できる携帯装置の開発が出来なくなる。一方、携帯装置がリースで提供される場合、商品購入者等へのリース料としての負担額が大きければ、ポイントサービスシステムへ加入する商品購入者等は減少する。

【０００８】この発明の目的は、ポイントサービスシステムの会員となった商品購入者等から、負担を掛けるこ

となく携帯装置のリース料を徴収できるポイントサービスシステム、ポイントサービス方法、および携帯装置を提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】この発明によるポイントサービス方法は、実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮想店舗コンピュータと、仮想店舗コンピュータに通信回線を介して接続される固定端末と、実店舗端末および固定端末に接続される携帯装置とを備えたポイントサービスシステムにおけるポイントサービス方法であって、実店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額を実店舗端末に入力するステップと、入力された支払金額をポイント関連情報として実店舗端末から携帯装置に送信するステップと、仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額を仮想店舗コンピュータから固定端末に送信するステップと、仮想店舗コンピュータから送信される支払金額を固定端末で受信するステップと、受信された支払金額をポイント関連情報として固定端末から携帯装置に送信するステップと、受信したポイント関連情報とポイント関連情報を受信した日時とに基づいて携帯装置で享受者が取得するポイント数を発行ポイント数として算出するステップと、算出された発行ポイント数を携帯装置で記憶するステップとを含む。

【0010】好ましくは、上記発行ポイント数を算出するステップでは、一定期間内に受信したポイント関連情報内の支払金額の累計を計算するステップと、計算された支払金額の累計に応じてユーザ還元率を決定するステップと、ポイント関連情報である支払金額と決定されたユーザ還元率との積で発行ポイント数を算出するステップとを含む。

【0011】これにより、累計支払金額に応じて発行ポイント数を変化させることが可能となる。

【0012】さらに好ましくは、ポイントサービスシステムは、実店舗端末および固定端末に通信回線を介して接続可能な管理コンピュータを備え、ポイント関連情報と享受者に付与されたユーザ識別子と発行ポイント数とを携帯装置から実店舗端末および固定端末に送信するステップと、携帯装置から送信されるポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを実店舗端末で受信するステップと、受信されたポイント関連情報と、ユーザ識別子と、発行ポイント数と、ポイント関連情報等を受信した日時とを実店舗端末で記憶するステップと、記憶されたポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数と日時とを実店舗情報として実店舗端末から管理コンピュータに送信するステップと、携帯装置から送信されるポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを固定端末で受信するステップと、受信されたポイント関連情報と、ユーザ識別子と、発行ポイント数と、ポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数とを受信

した日時を固定端末で記憶するステップと、記憶されたポイント関連情報とユーザ識別子と発行ポイント数と日時とを仮想店舗情報として固定端末から管理コンピュータに送信するステップと、実店舗端末および固定端末から実店舗情報と仮想店舗情報とを管理コンピュータで受信するステップと、実店舗情報および仮想店舗情報に基づいてユーザ識別子ごとの支払金額および発行ポイント数の履歴をユーザ履歴情報として管理コンピュータで作成するステップと、ユーザ履歴情報に基づいて、各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを管理コンピュータで計算するステップとを含む。

【0013】これにより、商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額の一部が携帯装置のリース負担料となる。その結果、携帯装置のリース償却期間の短縮が促進され、新たなサービスに対応可能な携帯装置の継続的な開発が可能となる。

【0014】さらに好ましくは、ポイントサービスシステムは、管理コンピュータに通信回線を介して接続可能であり、リース会社内に置かれたリース端末を備え、管理コンピュータで計算するステップでは、計算されたリース負担料を実店舗端末情報および仮想店舗端末情報内の日時に基づいて累計するステップと、累計されたリース負担料が規定の値に達したときに、管理コンピュータからリース端末へ、携帯装置の更新指令と、累計されたリース負担料が規定の値に達した享受者のユーザ識別子とを送信するステップとを含む。

【0015】これにより、携帯装置の更新が円滑に行なわれる。この発明にかかる携帯装置は、実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮想店舗コンピュータに接続可能な固定端末とに接続可能な携帯装置であって、実店舗または仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額をポイント関連情報として実店舗端末または固定端末から受信する手段と、受信したポイント関連情報とポイント関連情報を受信した日時とに基づいて携帯装置で享受者が取得するポイント数を発行ポイント数として算出する手段と、計算された発行ポイント数を記憶する手段とを含む。

【0016】好ましくは、発行ポイント数を算出する手段は、一定期間内に受信したポイント関連情報内の支払金額の累計を計算する手段と、計算された支払金額の累計に応じてユーザ還元率を決定する手段と、ポイント関連情報である支払金額と決定されたユーザ還元率との積で発行ポイント数を算出する手段とを含む。

【0017】これにより、累計支払金額に応じて発行ポイント数を変化させることが可能となる。

【0018】この発明にかかる管理コンピュータは、実店舗に置かれる実店舗端末と、仮想店舗が構築される仮

想店舗コンピュータに接続可能な固定端末とに通信回線を介して接続可能であり、固定端末を介して携帯装置と接続可能な管理コンピュータであって、実店舗で取得または利用されるポイントに関連する情報であって、実店舗端末から送信される実店舗情報と、仮想店舗で取得または利用されるポイントに関連する情報であって、固定端末から送信される仮想店舗情報とを受信する手段と、実店舗情報および仮想店舗情報を保存する手段と、実店舗情報および仮想店舗情報に応じて、各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを計算する手段とを含む。

【0019】好ましくは、実店舗情報は、実店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額と、ユーザ識別子と、支払金額の累計に応じて携帯装置で算出され、支払金額に応じて享受者が取得する発行ポイント数と、携帯装置が支払金額を実店舗端末から受信した日時であり、仮想店舗精算情報は、仮想店舗で提供される商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額と、ユーザ識別子と、支払金額の累計に応じて携帯装置で算出され、支払金額に応じて享受者が取得する発行ポイント数と、携帯装置が支払金額を仮想店舗端末から受信した日時であり、計算する手段は、実店舗情報と仮想店舗情報とからユーザ識別子ごとの支払金額および発行ポイント数の履歴をユーザ履歴情報として作成し、ユーザ履歴情報に従って各店舗から徴収する特約料と携帯装置をリースするリース会社へ還元すべきリース負担料と各店舗に還元すべきポイント還元金額とを計算する。

【0020】これにより、商品またはサービスに対してその享受者が支払う支払金額の一部が携帯装置のリース負担料となる。その結果、携帯装置のリース償却期間の短縮が促進され、新たなサービスに対応可能な携帯装置の継続的な開発が可能となる。

【0021】さらに好ましくは、上記管理コンピュータは、携帯装置をリースするリース会社内に置かれたリース端末に通信回線を通じて接続可能であり、計算する手段は、算出されたリース負担料を実店舗情報および仮想店舗情報内の日時に基づいて累計する手段を含み、累計されたリース負担料が所定の値に達したときに、管理コンピュータからリース端末へ、携帯装置の更新指令と、累計されたリース負担料が規定の値に達した享受者のユーザ識別子とを送信する手段を含む。

【0022】これにより、携帯装置の更新が円滑に行なわれる。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して詳しく説明する。図中同一または相当部分には同一符号を付してその説明は繰返さない。

【0024】1. ポイントサービスシステムの構成につ

いて

この発明の実施の形態は、新規サービスである「地域情報サービス」を実施するためのものである。

【0025】以下ポイントサービスシステムを含む地域情報サービスシステムのシステム構成を説明する。

【0026】図1は、この発明の実施の形態におけるポイントサービスシステムを含む地域情報サービスシステムの全体構成を示す図である。

【0027】図1を参照して、地域情報サービスシステムは、サービス運営会社が所有する管理コンピュータ10と、地域情報サービスの会員であるユーザが所有する携帯装置（以下ビューアと称する）20と、地域情報サービス加盟店のリアルショップが所有する実店舗端末30と、地域情報サービス加盟店のサイバーショップが所有する仮想店舗コンピュータ40と、放送局が所有する放送用機器50と、ユーザの各家庭に設置されているテレビジョン60と、固定端末70と、ビューア20をリースするリース会社が所有するリース端末110とで構成される。

【0028】ここで、リース端末を所有するリース会社はビューア20を生産するメーカーであってもよい。

【0029】管理コンピュータ10はネットワーク90を介してサービス加盟店であるリアルショップの実店舗端末30と、ユーザの各家庭で所有している固定端末70と、リース会社が所有するリース端末110とに接続可能である。また、管理コンピュータ10とサービス加盟店であるサイバーショップの仮想店舗コンピュータ40とは、専用回線100で接続されている。

【0030】管理コンピュータ10は、実店舗端末30から送信されるリアルショップ情報と、テレビジョン60から固定端末70を介して送信されるサイバーショップ情報とを保存する店舗情報マスタファイル11と、ビューア20から固定端末70を介して送信されるビューア情報を保存するビューア情報マスタファイル12と、照合部13と、精算部14とを含む。

【0031】また、ユーザの各家庭にある固定端末70はテレビジョン60と接続されている。また固定端末70はクレードルなどのケーブル80を介してビューア20と接続可能となる。

【0032】また、サービス加盟店であるリアルショップが所有している実店舗端末30は有線接続または無線接続でビューア20と接続可能である。

【0033】次にビューア20の構成について説明する。図2は、ビューア20の構成を示すブロック図である。

【0034】図2を参照して、ビューア20は固定端末70やリアルショップの実店舗端末30と接続し、情報を送受信するための入出力部21と、ビューア20を使用するユーザの個人情報が記録されているICカード22と、液晶画面上のタッチパネルや本体の選択ボタンで

ある操作部23と、地域情報が記憶されたディスクを挿入するためのディスクドライブ24と、リードオンリーメモリ(ROM)25と、ランダムアクセスメモリ(RAM)26と、ディスプレイ27と、中央処理装置(CPU)28と、ハードディスク(HD)29とを備える。これらは相互にバス200により接続されている。

【0035】HD29には後述するポイント管理プログラムが予め記憶されており、ビューア20はポイント管理装置として機能する。

【0036】続いて、地域情報サービス加盟店であるリアルショップが所有する実店舗端末30の構成について説明する。

【0037】図3は、実店舗端末30の構成を示すブロック図である。図3を参照して、実店舗端末30は、ビューア20と有線または無線接続し、情報を送受信するための入出力部31と、ネットワーク90を介して管理コンピュータ10と接続するための通信部32と、テンキーや選択ボタンなどである操作部33と、ROM34と、RAM35と、ディスプレイ36と、CPU37と、HD38とを備える。これらは相互にバス39で接続されている。

【0038】2. 地域情報サービスにおけるサービス概要

次に地域情報サービスのサービス概要について説明する。地域情報サービスはユーザに対してユーザが住む地域の飲食店や小売店などの地域情報を提供する地域情報提供サービスと、ユーザが地域情報を参照してリアルショップまたはサイバーショップで商品を購入またはサービスを享受したときに支払う支払金額に応じて発行または利用されるポイントを管理し、ポイントサービスシステムの運用資金を算出するポイントサービスとで構成されている。以下各々のサービスについて説明する。

【0039】2. 1 地域情報提供サービス

図4は、地域情報提供サービスにおける地域情報の提供方法を示す概略図である。

【0040】ユーザが、地域情報サービスの会員となった場合、サービス運営会社はリース会社に対して、会員となったユーザにビューア20と固定端末70とユーザが暮らしている地域における地域情報サービスに加盟している飲食店や小売店などの情報を記憶したSD(Secure Digital)カード等の記憶媒体を提供するよう依頼する。

【0041】サービス運営会社から依頼を受けたリース会社は、会員となったユーザに対し、ビューア20と固定端末70と地域情報を記憶した記憶媒体を提供する。提供されたビューア20のICカード22には、ビューア20の提供を受けるユーザの識別子である会員IDが記録されている。

【0042】リース会社はユーザに対してビューア20をリースという形で提供する。よって、ユーザはビュー

ア20のリース料の支払を行なう。ビューア20のリース料の支払は、月ごとにユーザがリース会社に支払う月額会費と、ユーザが地域情報サービスに加盟しているリアルショップまたはサイバーショップで商品を購入またはサービスを享受したときに支払う支払金額に応じてリース会社に支払われるリース負担料とで行われる。具体的にはビューア20の価格が30,000円でリース会社がビューア20の償却期間を2年と設定した場合、ユーザは月額会費として250円を支払い、残りの支払分はリース負担料で支払われる。リース負担料については後述する。

【0043】ユーザは地域情報サービスの利用する場合、地域情報を記憶している記憶媒体をビューア20のディスクドライブ24に挿入し、HD29に記憶することによりビューア20のディスプレイ27で地域情報を閲覧することが可能となる。

【0044】また、地域情報は、新たなスーパーの設立や期間限定サービスの実施など日々情報が更新されるものである。そこで、地域情報サービスに加盟しているリアルショップまたはサイバーショップで地域情報が更新された場合、リアルショップまたはサイバーショップは新たな地域情報についてサービス運営会社に報告する。サービス運営会社はリアルショップまたはサイバーショップから入手した新たな地域情報を放送局へと提供する。放送局はサービス運営会社から持込まれた新たな地域情報を放送用機器50にてデジタル放送等で各家庭に送信する。送信された新たな地域情報は固定端末70で記憶される。ユーザは、ビューア20を定期的に固定端末70にケーブル80を介して接続し、固定端末70から新たな地域情報を受信する。その結果、ユーザはビューア20のHD29に常に新たな地域情報を記憶させ、ディスプレイ27でその内容を閲覧することが可能となる。

【0045】このように地域情報サービスの会員となったユーザは常に最新の地域情報を記憶することが可能な携帯装置であるビューア20を持ち運ぶことで、いつでもどのような場所においても最新の地域情報を確認することが可能となる。

【0046】2. 2 ポイントサービス

次に、ポイントサービスについて説明する。

【0047】ポイントサービスとは、ユーザが地域情報サービスに加盟しているリアルショップまたはサイバーショップで商品を購入またはサービスを享受したときに支払う支払金額に応じてポイントを発行し、次回ユーザが地域情報サービスに加盟しているリアルショップまたはサイバーショップで商品を購入またはサービスを享受したときに前回までに獲得しているポイントを利用することで支払金額の割引を可能とするサービスである。

【0048】ポイントサービスシステムの機能としては、ポイント計算および管理機能と、ポイント精算機能

の2つの機能が存在する。

【0049】以下、それぞれにつき説明する。

2. 2. 1 リアルショップにおけるポイント計算および管理機能

ポイントサービスシステムのポイント計算および管理機能のうち、リアルショップ利用時のポイント計算および管理機能の動作について説明する。

【0050】図5は、この発明の実施の形態におけるポイントサービスシステムのうち、リアルショップ利用時のポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【0051】図5を参照して、ユーザが地域情報サービス加盟店のリアルショップで商品を購入またはサービスを受けた場合、はじめにユーザはユーザに対し商品またはサービスを提供した店の従業員にビューア20を提示する(ステップS201)。店の従業員はユーザから提示されたビューア20を実店舗端末30の入出力部31に接続する(ステップS202)。なおビューア20と実店舗端末30の接続方法は、有線による接続でもよ

いし、無線による接続でもよい。

【0052】続いてリアルショップの従業員は、ビューア20を接続した実店舗端末30でテンキーや選択ボタン等の操作部33を用いて提供した商品またはサービスに対してユーザが支払う支払金額を入力する(ステップS301)。従業員によって実店舗端末30に入力された支払金額の値は、入出力部31よりビューア20へ送信される(ステップS302)。ビューア20は実店舗端末30より送信された支払金額の値を入出力部21より受信する(ステップS203)。

【0053】ビューア20はHD29に予め記憶しているポイント管理プログラムでポイント管理装置として機能し、支払金額に対するポイントの計算を行なう(ステップS204)。

【0054】ステップS204では表1に示すポイント管理テーブル上でポイントの計算を行なう。

【0055】

【表1】

会員ID	:W0452						
月次	:2000年9月						
有効期限	:2001年3月31日						
日付	店ID	支払金額	累計支払金額	発行ポイント	利用ポイント	累計ポイント	登録
2000.09.01	M1538	3,800	3,800	114	0	4,245	済
2000.09.09	M0026	7,200	11,000	256	0	4,359	未
2000.09.16	M0452	5,300	16,300	371	0	4,730	未
...
...

【0056】ポイント管理テーブルは、利用日付欄と、商品を購入した店の識別子である店IDを記録する店ID欄と、ユーザが購入した商品または享受したサービスに対して支払う支払金額を記録する支払金額欄と、支払金額欄に記録された支払金額から支払月ごとの支払金額を累計して記録する累計支払金額欄と、支払金額において発行される発行ポイントを記録する発行ポイント欄と、商品を購入する際にポイントを利用した場合に記録される利用ポイント欄と、ユーザが所有しているポイントの総数を示した累計ポイント欄と、これらの情報を管理コンピュータ10へ登録したか否かについて、登録した場合には「済」と記録し、未登録の場合には「未」と記録する登録欄とから構成される。また、ポイント管理テーブルにはユーザの識別子である会員IDと月次とポイントの有効期限も記録されている。なおポイント管理テーブルはHD29に記憶されている。

【0057】続いて、ポイント管理テーブル上での発行ポイントの計算方法について説明する。

【0058】発行ポイントPは、支払金額Yを用いて以下の式で算出される。

$$P = \alpha \times Y$$

ここで、 α はユーザ還元率である。ユーザ還元率 α は図6に示すように、累計支払金額に依存する。

【0059】図6を参照して、月ごとの累計支払金額が10,000円未満であるときは、ユーザ還元率 α は3%とする。また累計支払金額が10,000円以上20,000円未満のときは、ユーザ還元率は7%とする。累計支払金額が20,000円以上のときは、ユーザ還元率は10%とする。

【0060】ここで、表1に従って、会員IDがW0452であるユーザの2000年9月1日から9月16日までの発行ポイントの計算について、図7を用いて説明する。

【0061】はじめに、会員IDがW0452であるユーザが2000年9月1日に店IDがM1538の店で3,800円の支払を行なったときの累計支払金額は3,800円となる。よって、図7よりユーザ還元率 α は3%となり、このときの発行ポイント数は、 $P = 3,800 \text{円} \times 3\% = 114 \text{ポイント}$ となる。

【0062】次に、9月9日に店IDがM0026の店で7,200円の支払を行なったとき、累計支払金額は11,000円となる。この場合、累計支払金額が10,000円を超えるので、図7に示すように累計支払金額が10,000円に達するまでの6,200円分についてのユーザ還元率 α は3%となり、累計支払金額が

10,000円を超えた1,000円分についてはユーザ還元率 α が7%となる。よって、このときの発行ポイント数は、

$P = 6,200円 \times 3\% + 1,000円 \times 7\% = 256$ ポイントとなる。

【0063】また、9月16日に店IDがM0452の店で5,300円の支払を行なったとき、累計支払金額は16,300円となり、累計支払金額は20,000円以内に収まる。よって、このときのユーザ還元率 α は7%となり、このときの発行ポイント数は、 $P = 5,300円 \times 7\% = 371$ ポイントとなる。以上に示した計算方法にて、発行ポイントは算出される。

【0064】なお、累計支払金額は月ごとに算出されるため、会員IDがW0452であるユーザが2000年10月1日に支払を行なった場合は、累積支払金額は10月1日分の支払金額から累積されることになる。

【0065】また、ポイント管理テーブルでは、従来までの累計ポイント数と今回商品を購入等することにより

店ID :M1538
日付 :2000年9月1日

ユーザID	支払金額	発行ポイント	利用ポイント	累積ポイント	登録
W0452	3,800	114	0	4,245	未
W2358	7500	225	0	3,503	未
...
...
...

【0069】なお、ビューア20についても、ステップS204でポイントを計算後、ポイント管理テーブルは更新され、HD29に保存される（ステップS207）。

【0070】続いて、ユーザは帰宅後にビューア20をケーブル80を介して固定端末70に接続する（ステップS208）。固定端末70はビューア20の接続を確認後（ステップS701）、ビューア20のHD29に記憶しているポイント管理テーブル上のポイント情報でサービス運営会社の管理コンピュータ10に登録されていない新規のポイント情報を送信するようにビューア20に要求する（ステップS702）。

【0071】ビューア20は固定端末70からの送信依頼を出力部21を介して受信後（ステップS209）、管理コンピュータ10に登録していないポイント情報を検索する（ステップS210）。検索方法としては、表1に示したポイント管理テーブルの登録欄を参照して、「未」と記録されている登録欄を検索する。

【0072】検索終了後、ビューア20は管理コンピュータ10に未登録のポイント情報があつた場合に固定端末70にそのポイント情報を送信する（ステップS211）。ビューア20から送信された未登録のポイント情報は固定端末70に受信され（ステップS703）、固

獲得した発行ポイント数を加えた累計ポイント数も算出する。

【0066】ステップS204での発行ポイント数の計算等を行なった後、ビューア20はポイント管理テーブル上で計算した発行ポイント数および累計ポイント数をディスプレイ27に表示する（ステップS205）。図8にビューア20のディスプレイ27に表示された計算結果の表示画面の一例を示す。

【0067】ビューア20はディスプレイ27にポイントを表示後、計算結果である発行ポイント数や累計ポイント数およびユーザの会員IDなどの表1に示したポイント管理テーブルに登録した情報をポイント情報として出力部21からリアルショップの実店舗端末30へ送信する（ステップS206）。実店舗端末30はビューア20から送信されたポイント情報を入力部31を通じて受信し、そのポイント情報をHD38にて表2に示すポイント管理テーブルとして保存する（ステップS304）。

【0068】

【表2】

定端末70はそのポイント情報をネットワーク90を介して管理コンピュータ10に送信する（ステップS704）。なお、固定端末70から管理コンピュータ10へ送信されるポイント情報としては表1の管理テーブルに記載された利用日付、利用したリアルショップの店ID、支払金額、累計金額、発行ポイント数、利用ポイント数、累計ポイント数と共に、ユーザIDも付加される。

【0073】続いて管理コンピュータ10では固定端末70から送信されてきたポイント情報を受信し（ステップS103）、管理コンピュータ10内のビューア情報マスタファイル12にビューア情報として保存する（ステップS104）。保存はビューア20と同様に表1に示したポイント管理テーブルの形式で行なう。

【0074】一方、リアルショップの実店舗端末30においてもステップS304でHD38に記憶したユーザのポイント情報をリアルショップの閉店後等、定期的に管理コンピュータ10へネットワーク90を介して送信する（ステップS305）。このとき実店舗端末30は、表2に示したポイント管理テーブルの登録欄を参照し、管理コンピュータ10に未登録のポイント情報を管理コンピュータ10へ送信する。管理コンピュータ10はリアルショップの実店舗端末30から送られてきたポ

イント情報を受信し(ステップS101)、店舗情報マスタファイル11にそのポイント情報をリアルショップ情報として表2に示したポイント管理テーブルの形式で保存する(ステップS102)。

【0075】管理コンピュータ10に保存されたビューア情報およびリアルショップ情報は、管理コンピュータ10内の照合部13で定期的に照合される(ステップS105)。ユーザがビューア20を不正に操作してポイント管理テーブル上の値を改ざんしていないか確認するためである。

【0076】続いて、ユーザがリアルショップで購入した商品または享受したサービスに対して金額を支払うときにポイントを利用する場合の動作について説明する。

【0077】図9は、この発明の実施の形態におけるポイントサービスのうちユーザがリアルショップでポイントを利用するときのポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【0078】図9を参照して、ユーザが地域情報サービス加盟店のリアルショップで商品を購入またはサービスを享受した場合のビューア20の提示から店の従業員が支払金額をリアルショップの実店舗端末30に入力するまでの動作(ステップS201～S301)までの動作については図5と同様であるのでその説明は繰返さない。

【0079】続いて、ユーザがポイントの利用を希望する場合、リアルショップの従業員は実店舗端末30のポイント利用キーを入力する(ステップS306)。ポイント利用キーの入力により、支払金額の値と共にビューア20のディスプレイ27にユーザが所有している累計ポイント数を表示させる指令が実店舗端末30の入出力部31よりビューア20へ送信される(ステップS307)。

【0080】ビューア20は実店舗端末30から送信される支払金額の値と累計ポイント数の表示指令を入出力部21にて受信後(ステップS212)、図10(a)に示すようにディスプレイ27に商品等の支払金額の値とともに、表1に示したポイント管理テーブルから読取られた現在ユーザが所有している累計ポイント数を表示する(ステップS213)。ユーザは累計ポイント数を参照後、今回の支払金額に対して利用するポイント数をリアルショップの従業員に口頭等で伝え、リアルショップの従業員はユーザが伝えた利用ポイント数を実店舗端末30に入力する(ステップS308)。入力された利用ポイント数は実店舗端末30からビューア20へ送信される(ステップS309)。

【0081】ビューア20は実店舗端末30から送信される利用ポイント数を受信後(ステップS214)、表1のポイント管理テーブル上で今回の支払金額に対しての発行ポイント数の計算を行なった後、今回の支払金額に対して利用する利用ポイント数を累計ポイント数から

差引きし、今回の商品購入またはサービス享受後の累計ポイント数を計算する(ステップS215)。

【0082】なお、発行ポイント数の算出方法については、図5中のステップS204で示した算出方法と同じであるため、その説明は繰返さない。

【0083】計算終了後、ビューア20はディスプレイ27にその計算結果を表示する(ステップS216)。ディスプレイ27に表示される画面はたとえば図10(b)に示したような画面となる。ビューア20は計算結果をディスプレイ27に表示後、累計ポイントの計算結果などの情報をポイント情報として実店舗端末30に送信する(ステップS217)。

【0084】以降の動作については図5と同様であるのでその説明は繰返さない。以上のような動作を行なうことにより、ビューア20が主体となりポイントの管理を行なうことが可能となり、さらに発行ポイント数を月ごとの累計支払金額に従って変化させることが可能となる。

【0085】2.2.2 サイバーショップにおけるポイント計算および管理機能

次に、サイバーショップにおけるポイントサービスシステムのポイント計算および管理機能の動作について説明する。

【0086】図11は、この発明の実施の形態におけるポイントサービスのうちサイバーショップにおけるポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【0087】図11を参照して、ユーザは放送局の放送用機器50から送信されてくる商品情報またはサービス情報をテレビジョン60のディスプレイ(図示せず)を参照しながらリモコン等を用いて選択する(ステップS601)。このとき、固定端末70ではビューア20が固定端末70にケーブル80を介して接続されているかどうかを確認し(ステップS705)、接続されている場合ビューア20に保存されているユーザの累計ポイントの情報を要求する(ステップS706)。ビューア20は固定端末70からのポイント情報の要求を受信後(ステップS221)、HD29に記憶しているポイント管理テーブル上の累計ポイント数を固定端末70に送信する(ステップS222)。ビューア20が送信したユーザの累計ポイント数は固定端末70を介して(ステップS707)、テレビジョン60のディスプレイに出力される(ステップS602)。たとえばユーザが商品を購入する場合、テレビジョン60のディスプレイには図12に示したような画面が表示される。

【0088】図12の画面を参照後、ユーザが購入する商品を決定した場合、テレビジョン60のディスプレイ上には図13のような画面が表示され、ユーザはディスプレイ上の表示に従って商品発注内容の決定を行なう(ステップS603)。このときユーザはユーザが所有

している累計ポイントを利用するか否かを決定し（ステップS604）、ポイントを利用する場合は利用するポイント数をリモコン（図示せず）等を用いて入力する（ステップS605）。発注内容が決定した場合、ユーザはリモコン等を用いて商品発注指令を固定端末70に送信する（ステップS606）。このとき、商品発注指令にはユーザが購入した商品の支払金額およびステップS605でユーザが入力した利用ポイント数の情報が含まれている。テレビジョン60から送信された商品発注指令は固定端末70で受信される（ステップS708）。固定端末70は、商品を購入したことによるポイントの増減をビューア20で計算させるために、受信した商品発注指令に含まれる商品の支払金額および利用ポイント数をビューア20へ送信する（ステップS709）。

【0089】固定端末70から支払金額および利用ポイント数を受信したビューア20は（ステップS223）、支払金額から発行ポイント数を計算し、発行ポイント数と利用ポイント数からユーザの累計ポイント数の増減について計算を行なう（ステップS224）。なお、計算方法については、図5中のステップS204で示した計算方法と同じであるため、その説明は繰返さない。計算結果については、表1に示したポイント管理テーブルに保存され（ステップS225）、ポイント管理テーブルに記録されたポイント情報は、ビューア20から固定端末70へ送信される（ステップS226）。

【0090】固定端末70はビューア20から送信されたポイント情報を受信後（ステップS710）、テレビジョン60で作成された発注内容およびポイント情報を管理コンピュータ10に送信する（ステップS711）。

【0091】これと並行して固定端末70はポイント情報をテレビジョン60へ送信する（ステップS710）。テレビジョン60では固定端末70から送信されたポイント情報を受信後（ステップS607）、テレビジョン60内のハードディスク（図示せず）に保存し（ステップS608）、この情報をサイバーショップ情報として固定端末70を介して（ステップS712）、管理コンピュータ10へ送信する（ステップS609）。

【0092】ステップS607～S712までの一連の動作は、ポイント情報の照合をサイバーショップの利用時においても行なうためになされる動作であるが、サイバーショップ利用時においては、ステップS711でのビューア情報の管理コンピュータ10への送信と、ステップS712のサイバーショップ情報の管理コンピュータ10への送信は同一タイミングで行われる。

【0093】固定端末70から送信された発注依頼およびビューア情報は管理コンピュータ10で受信され（ステップS114）、ビューア情報は、ビューア情報マ

スタファイル12に保存される（ステップS115）。一方、同じタイミングでテレビジョン60から固定端末70を介して送信されたサイバーショップ情報は管理コンピュータ10で受信され（ステップS116）、店舗情報マスタファイル11に保存される（ステップS117）。保存されたビューア情報およびサイバーショップ情報はユーザの不正行為発見のために照合部13で照合が行われる（ステップS118）。

【0094】続いて管理コンピュータ10は発注を受理した旨を固定端末70に送信する（ステップS119）。同時に、管理コンピュータ10はその発注内容についてサイバーショップの仮想店舗コンピュータ40に送信する（ステップS120）。

【0095】管理コンピュータ10から送信された発注受理の旨は固定端末70で受信され（ステップS713）、テレビジョン60にその受理内容を出力するように依頼する（ステップS714）。固定端末70から発注受理内容の出力依頼を受信したテレビジョン60は（ステップS610）、ディスプレイ上にたとえば図14に示すような画面で発注受理内容を出力する（ステップS611）。

【0096】以上のような動作によりユーザはサイバーショップで商品を購入またはサービスを受受する場合においても、ビューア20が主体となってポイント管理を行なうことが可能となり、さらに発行ポイント数を累計支払金額に従って変化させることが可能となる。

【0097】2.2.3 ポイント精算機能

以上の説明のとおり、リアルショップ利用時およびサイバーショップ利用時のいずれにおいてもポイントの管理はビューア20で行なわれ、ユーザはビューア20で管理されたポイントを利用する。リアルショップおよびサイバーショップの各店舗で発行および利用されたポイント数に基づきポイントサービスシステムの運用資金の算出を行なうポイント精算については、サービス運営会社の所有する管理コンピュータ10にて行なう。

【0098】以下、ポイントサービスのうち、実店舗端末30から送信されるリアルショップ情報および固定端末70から送信されるサイバーショップ情報をもとにポイント精算を行なう動作について説明する。

【0099】図15はこの発明の実施の形態におけるポイントサービスシステムのポイント精算機能の動作を示すフローチャート図である。

【0100】図15を参照して、管理コンピュータ10は照合部13にて照合後（ステップS121）、店舗情報マスタファイル11に保存してあるリアルショップ情報およびサイバーショップ情報を用いて精算部14にてその情報をユーザID単位で編集する（ステップS122）。

【0101】表3に管理コンピュータ10内の精算部14でリアルショップ情報およびサイバーショップ情報を

ユーザID単位に集計する際の編集テーブルの一例を示す。

【0102】

【表3】

会員ID :W0452
月次 :2000年9月
有効期限 :2001年3月31日

日付	店ID	支払金額	発行 ポイント	利用 ポイント	累計 ポイント	今月 負担料残高	リース料 残高	特約料	ポイント 還元金
2000.09.01	M1538	3,800	114	0	4,245	734	14,734	760	0
2000.09.09	M0026	7,200	256	0	4,359	270	14,270	1,440	0
2000.09.16	M0452	5,300	371	0	4,730	111	14,111	1,060	0
2000.09.25	M0396	7,200	609	4,000	1,339	0	14,000	1,440	4,000
...

【0103】編集テーブルは、利用日付欄と、商品を購入した店の識別子である店IDを記録する店ID欄と、ユーザが購入した商品または享受したサービスに対して支払う支払金額を記録する支払金額欄と、支払金額において発行される発行ポイントを記録する発行ポイント欄と、商品を購入する際にポイントを利用した場合に記録される利用ポイント欄と、ユーザが所有しているポイントの総数を示した累計ポイント欄と、今月負担料残高欄と、リース負担料残高欄と、支払金額に対して各店舗がポイントサービス運営会社へ支払うべき特約料を記録する特約料欄と、ポイントの利用を受けた時に還元されるポイント還元金を記録したポイント還元金欄とから構成される。

【0104】今月負担料残高欄およびリース負担料残高欄はビューア20のリース負担料に関する金額を記録する欄である。

【0105】具体的には、先述したようにビューア20の価格が30,000円でリース会社がビューア20の償却期間を2年と設定し、ユーザは月額会費として2500円を支払うと仮定した場合、ビューア価格30,000円から月額会費の2年分である6,000円を差し引いた24,000円分がリース負担料となる。このとき、ビューア20の償却期間は2年であるから、月ごとに徴収すべきリース負担料である今月負担料を1,000円と設定する。このとき今月負担料の残高が今月負担料残高欄に、また、リース負担料の残高がリース負担料残高欄にそれぞれ記録される。リース負担料の算出方法については後述する。

【0106】なお、編集テーブルにはユーザの識別子である会員IDおよびポイントの有効期限なども記録されている。

【0107】続いて、ステップS122で編集された編集テーブルに従って、管理コンピュータ10内の精算部14が、各店舗からポイントサービス運営会社へ支払われる特約料と、特約料から割当てられ、ビューア20をリースするリース会社へ支払うリース負担料と、同じく特約料から割当てられ、ポイントの利用を受けた店舗に還元されるポイント還元金とを算出する(ステップS123)。

【0108】サービス運営会社は支払金額の20%を特約料として請求するため、表3における店IDがM1538の店に対しては3,800円の支払があったのでその20%の760円を特約料として算出する。

【0109】算出した特約料の50%にあたる380円は、ポイントサービス運営会社への手数料となる。

【0110】ポイントサービス運営会社への手数料を除いた特約料の残りの50%にあたる380円は以下のように分配される。

【0111】すなわち、店IDがM1538の店での支払によりユーザが得た発行ポイント数は114ポイントであるため、380円中の114円分は、ポイントの利用を受けた店舗に還元されるポイント還元金の原資としてサービス運営会社へプールされる。また、ポイントサービス運営会社への手数料を除いた特約料の残りの50%にあたる380円からポイント還元金原資を差し引いた266円分がビューア20をリースするリース会社へ支払うリース負担料となる。

【0112】以上の方法により算出された特約料は、表3に示した編集テーブルの特約料欄にそれぞれ記録される。

【0113】一方、リース負担料については、表3に示した編集テーブルの今月負担料残高欄に今月分のリース負担料の残高とリース負担料との差額で記録される。よって、店IDがM1538の店での今月負担料残高欄は月のはじめであるため、今月負担料残高である1000円からリース負担料266円を差し引いた値である734円が記録される。

【0114】また、リース負担料については、今月負担料残高欄での記録とともに、編集テーブルのリース負担料残高欄に前回までのリース負担料の残高と今回の支払により発生したリース負担料との差額を記録する。よって、店IDがM1538の店でのリース負担料残高欄は、前回までのリース負担料残高である15,000円からリース負担料266円を差し引いた値である14,734円が記録される。

【0115】ここで、表3の編集テーブルにおいて、店IDがM0396の店での支払により、今月負担料残高が0となった場合、2000年9月中の次回以降の支払

時には、特約料からリース負担料は算出されず、特約料からポイントサービス運営会社への手数料を除いた分は、すべてポイント還元金原資として計算される。

【0116】以上の方法により特約料とリース負担料を算出した後、管理コンピュータ10内の精算部14は表3に示した編集テーブル上のリース負担料残高欄を確認する(ステップS124)。リース負担料残高欄が0である場合は、サーバコンピュータ10はビューア20の更新指令をビューア20をリースしているリース会社内に置かれたリース端末110へネットワーク90を介して送信する(ステップS125)。このときサーバコンピュータ10はビューア20の更新対象となったユーザのユーザIDも送信する。

【0117】リース端末110はサーバコンピュータ10から送信されたビューア更新指令を受信後(ステップS126)、ビューア更新手続を行なう(ステップS1

27)。具体的には、リース端末110内のハードディスク(図示せず)にはユーザIDごとの住所録等の個人データが予め記録されており、リース端末110はサーバコンピュータ10から送信されたユーザIDによりビューア20を更新すべきユーザの住所等を特定し、新しいビューア20をユーザの元へ発送する。

【0118】サーバコンピュータ10がステップS125でリース端末110にビューア更新指令を送信後、もしくは、ステップS124において編集テーブル上のリース負担料が0でない場合、サーバコンピュータ10の精算部14は、表3に示した編集テーブル上の支払金額と特約料と利用ポイント数とポイント還元金額とを店ID単位に集計し、(ステップS128)表4に示す集計テーブルに記録する。

【0119】

【表4】

月次 :2000年9月						
店ID	累計支払金額	特約料	利用ポイント	ポイント還元金	取引口座	精算
...
M0216	216,400	43,280	5,000	5,000	××銀行0012	済
M0217	328,600	65,720	13,000	13,000	○×銀行0658	未
...
V0026	1,868,300	373,660	53,000	53,000	△△銀行4815	済
V0027	965,700	193,140	28,000	28,000	△×銀行5697	済
...

【0120】集計テーブルは、リアルショップおよびサイバーショップの店舗の識別子である店IDを記録する店ID欄と、各店舗ごとのユーザが支払った支払金額の合計を記録する累計支払金額欄と、サービス運営会社が各店舗に請求する特約料を記録する特約料欄と、各店舗ごとにユーザが利用した利用ポイント数の合計を記録する利用ポイント欄と、利用ポイント欄のポイント数に応じてサービス運営会社が各店舗に還元する金額を記録するポイント還元金欄と、特約料および還元金の精算方法について各店舗が口座指定を行なう場合に記録する取引口座欄と、精算済か否かを記録する精算欄とがある。

【0121】ステップS128での集計はたとえば月単位等定期的に行なわれる。ステップS128での集計が終了した後、契約している各店毎に精算を行なう(S129)。なお、精算方法は表4に示したように取引口座を指定する方法でもよいし、他の方法でもよい。

【0122】以上のような動作により、特約料の一部をリース負担料とすることで、ビューアのリース償却期間の短縮を促進する。そのため、ビューアをリースするリース会社は新たなサービスに対応可能なビューアの継続的な開発が可能となる。

【0123】今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図され

る。

【0124】

【発明の効果】この発明によれば、ポイントサービスシステムの運用資金の一部をビューアのリース負担料に割当てることで、ユーザに負担を掛けることなくリース料の徴収が可能となり、ビューアをリースするリース会社は新たなサービスに対応可能なビューアの継続的な開発が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態におけるポイントサービスシステムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】 図1における携帯装置20の構成を示すブロック図である。

【図3】 図1における実店舗端末30の構成を示すブロック図である。

【図4】 地域情報提供サービスにおける地域情報のフローを示す概略図である。

【図5】 この発明の実施の形態におけるポイントサービスのうち、リアルショップ利用時のポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【図6】 累計支払金額に対するユーザ還元率を示す図である。

【図7】 累計支払金額に対するユーザ還元率の決定方法を示す図である。

【図8】 図5中のステップS205で表示される画面を示す図である。

【図9】 この発明の実施の形態におけるポイントサービスのうち、ユーザがリアルショップでポイントを利用するときのポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【図10】 図9中のステップS213およびステップS216で表示される画面を示す図である。

【図11】 この発明の実施の形態におけるポイントサービスのうちサイバーストップにおけるポイント計算および管理機能の動作を示すフローチャート図である。

【図12】 図11中のステップS602で表示される画面を示す図である。

【図13】 図11中のステップS603で表示される画面を示す図である。

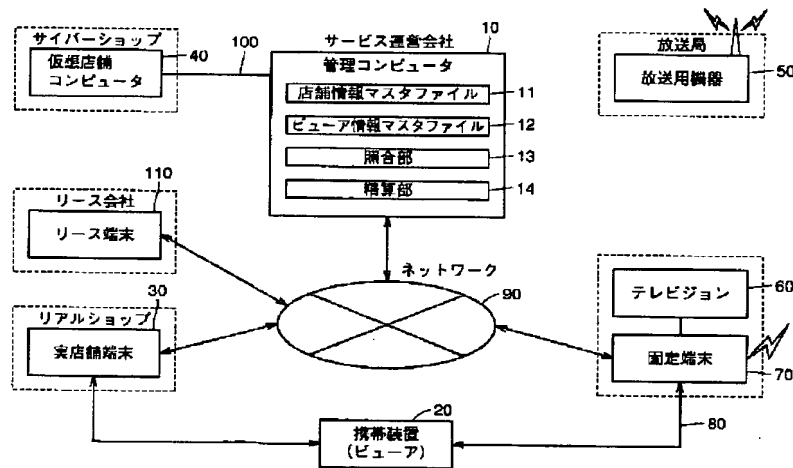
【図14】 図11中のステップS610で表示される画面を示す図である。

【図15】 この発明の実施の形態におけるポイントサービスシステムのポイント精算機能の動作を示すフローチャート図である。

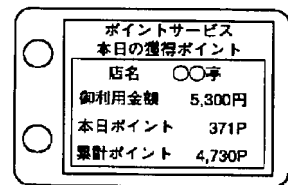
【符号の説明】

10 管理コンピュータ、11 店舗情報マスタファイル、12 ビューア情報マスタファイル、13 照合部、14 精算部、20 携帯装置（ビューア）、30 店舗端末、40 仮想店舗コンピュータ、50 放送用機器、60 テレビジョン、70 固定端末、80 ケーブル、90 ネットワーク、100 専用回線、110 リース端末。

【図1】



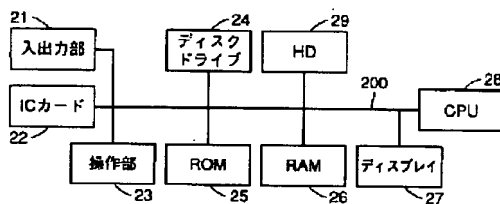
【図8】



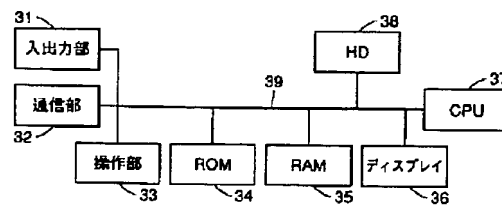
【図12】



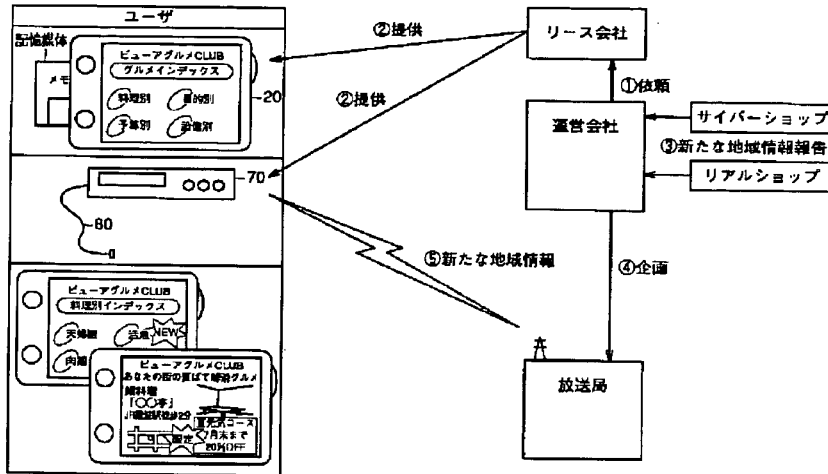
【図2】



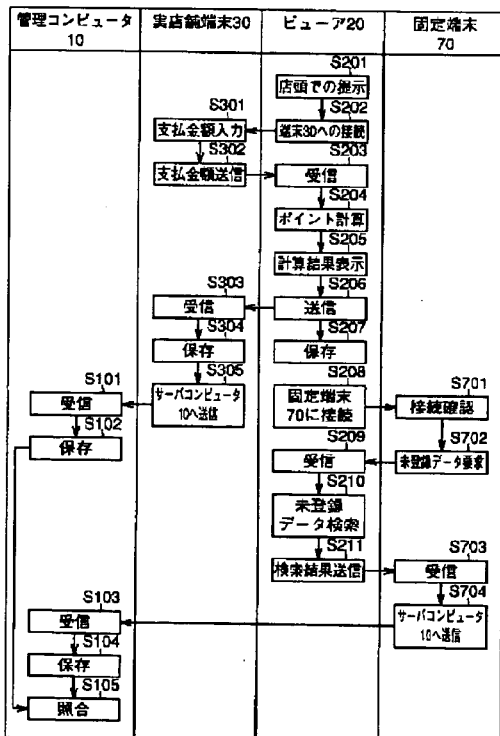
【図3】



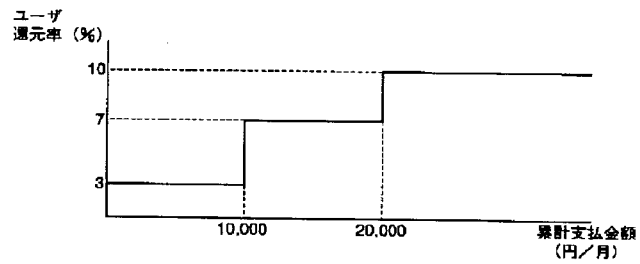
【図4】



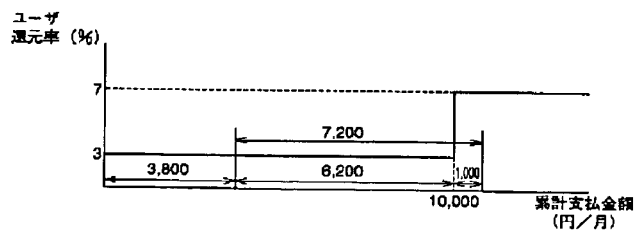
【図5】



【図6】



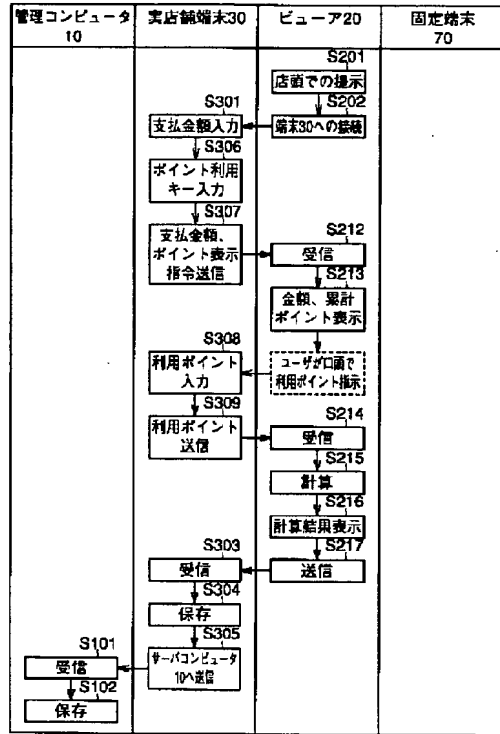
【図7】



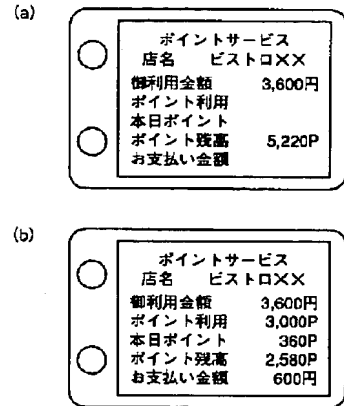
【図13】

購入者確認	○未▲子 会員ID.W0452 堺川市茶山町2-3 電話22-3333
購入した商品	00/9/9 店ID.V0026 商品D.0528.1029 合計¥27,760
お支払い方法	代金 引換
	ポイント 2000点
	発注

【図9】



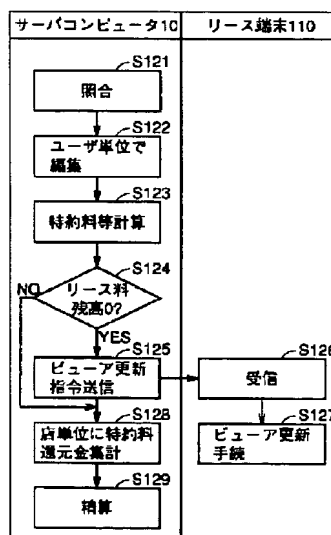
【図10】



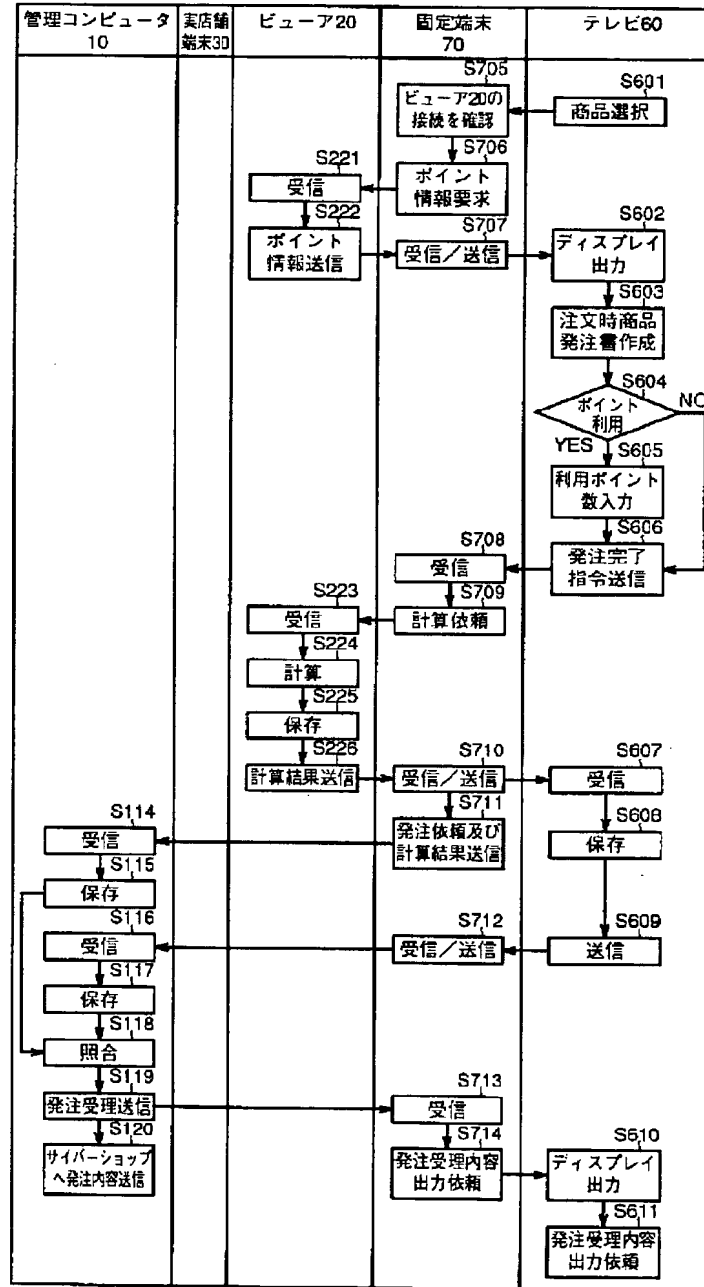
【図14】

shopチャンネル	
お買い上げありがとうございます	
お買い上げ明細	00/9/9 店ID.v0026
	商品ID.0508.1029 合計 ¥27,780
ポイント点数	get: 2778ポイント
00/9/9	pay: 2000ポイント
現在	累計 4690 ポイント

【図15】



【図11】



(特 7) 102-269427 (P2002-26JL8)

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 6 K	17/00	G 0 6 K	17/00 R
G 0 7 G	1/12	G 0 7 G	1/12 3 2 1 M
	1/14		1/14

(72) 発明者 川口 康子
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ャープ株式会社内

(72) 発明者 阪本 実雄
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ャープ株式会社内
F ターム (参考) 3E042 CC04 CD04 EA00
5B058 KA08 YA01 YA20